

平成30年10月19日  
自動車局整備課

## 大型車の車輪脱落事故が増加！特に左後輪に注意！

～ 平成29年度大型車の車輪脱落事故発生状況を受けて ～

平成29年度のホイール・ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故発生件数は67件（うち人身事故2件）で、前年度に比べ11件増加し、近年、同事故の発生件数は増加傾向にあります。

これから冬用タイヤの交換作業を迎えることから、タイヤ交換時の適正な作業の実施、一定距離走行後の増し締めなど、確実なチェックが重要です。

### 1. 事故発生状況

平成29年度の大型車（車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス）のホイール・ボルト折損等による車輪脱落事故の発生状況は別紙1のとおりです。

#### 【主な傾向】

- ・大型車の車輪脱落事故は、冬期（11月～3月）に集中（全67件中56件（84%））。
- ・積雪地域での発生が多く、北海道での発生が前年度より8件増加し13件（前年度の2.6倍）。
- ・車輪脱着作業後1ヶ月以内に発生した脱落事故が約半数（55%）を占める。
- ・脱輪の主な原因のうちホイール・ボルト又はナットの締付不良等の「作業ミス」が91%と大半を占める。
- ・脱輪の直前に行ったタイヤの脱着作業が「タイヤ交換」である44件について、その作業の実施月を見ると、11月にタイヤを交換した車両が21件（48%）を占める。
- ・車輪脱落位置の大半（56件（83%））が左後輪。 ※推定原因については別紙1参照

### 2. 車輪脱落事故防止に係る取り組み

国土交通省では、近年、車輪脱落事故の発生が増加傾向にあることを重く受け止め、関係業界とともに「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会」において、脱輪防止対策に係る従来の取り組みに加え、各業界で取り組むべき車輪脱落事故防止のための「緊急対策」を取りまとめ、実施しております。

特に、これから冬期に向けて冬用タイヤの交換がピークを迎えるため、大型車のユーザーなどの関係者に対し、緊急対策の内容（別紙2）について徹底を図ってまいります。

なお、上記については、（一社）日本自動車工業会作成のチラシ（別紙3）により運送事業者をはじめとする大型車ユーザーなどの関係者に対して、徹底を図ってまいります。

#### <添付資料>

- 別紙1 平成29年度大型車の車輪脱落事故発生状況
- 別紙2 大型車の車輪脱落事故防止のための「緊急対策」
- 別紙3 大型車の車輪脱落事故防止のための啓発用チラシ（（一社）日本自動車工業会作成）

#### <問い合わせ先>

自動車局 整備課 村井、児島、伊堂寺

代表：03-5253-8111（内線：42426、42412）、直通：03-5253-8599、FAX：03-5253-1639